

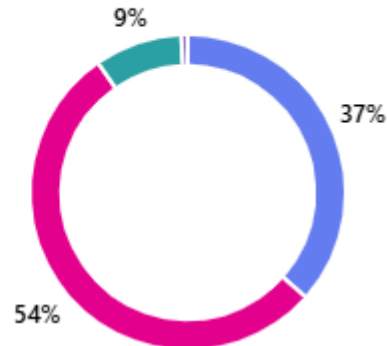
R7【後期】 学校評価アンケート結果より

【備考】各グラフ右上「詳細情報」の閲覧はできません。

2. 学校では、命の大切さを教え、心の教育にも力を入れている。

[詳細情報](#)

● そう思う	57
● 少しそう思う	84
● あまりそう思わない	14
● そう思わない	1

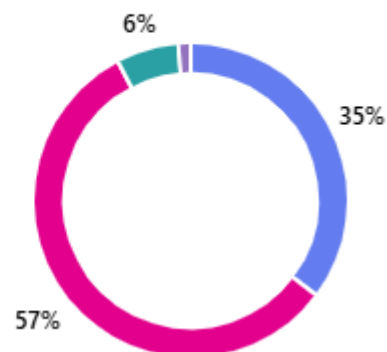


★道徳科の学習を中心に、命の大切さや思いやりの心を育てる教育に取り組んできました。論語教育の活用や「道徳コーナー」の掲示により、子供たちが学んだことを日常生活で振り返り、行動につなげられる環境づくりを進めています。また、命について考える学習や全校での取組を通して、自分や友達を大切にしようとする姿が多く見られました。今後も、学校全体で心の教育を大切にしながら継続して指導していきます。

3. 学校では、お互いの良いところを認め合い、いじめや差別を許さない環境を作っている。

[詳細情報](#)

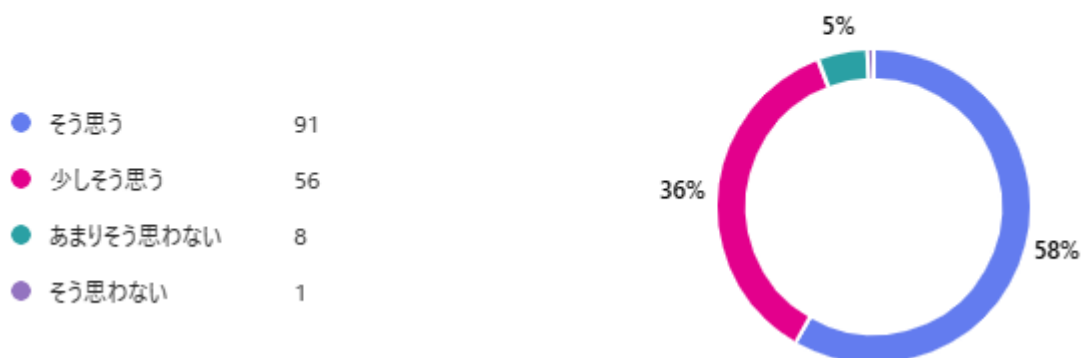
● そう思う	55
● 少しそう思う	89
● あまりそう思わない	10
● そう思わない	2



★これまで取り組んできた「いじめ0作戦」や人権教育を継続し、互いのよさを認め合う温かい雰囲気づくりを進めています。朝や帰りの会では、友達のよい行いを伝え合う時間を設け、日常的に相手を尊重する姿勢を育てています。また、児童アンケートや日々の観察を通して、悩みを抱える児童を早期に把握し、ご家庭と連携しながら全職員で支援しています。今後も、いじめや差別を許さない学校づくりを目指し、子供たちが安心して過ごせる環境を整えていきます。

4. 学校では、異なる年齢の子どもたちや先生との交流の時間を大切に、思いやりや助け合う心を育てている。

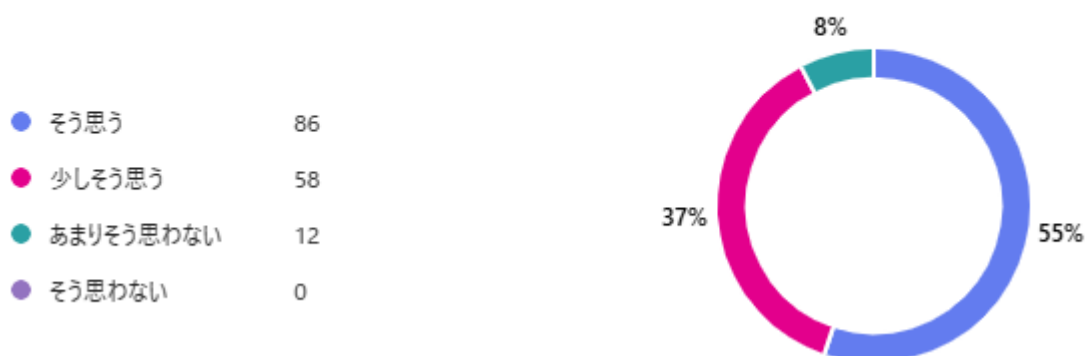
[詳細情報](#)



★異年齢で構成される「なかよし班」での共遊や清掃活動を継続し、学年を超えた交流の中で思いやりや助け合う心を育てています。高学年が下学年を気遣いながら活動を進める姿も多く見られ、児童同士の関わりがより深まっています。また、ペア学年共遊や対人関係づくりの活動を通して、互いに声をかけ合いながら安心して過ごせる雰囲気づくりを進めています。今後も、児童と教職員が温かく関わり合える時間を大切に、思いやりの心を育む教育活動を充実させていきます。

5. 学校では、芸術鑑賞や校外学習など様々な体験を通じて、豊かな心を育てている。

[詳細情報](#)

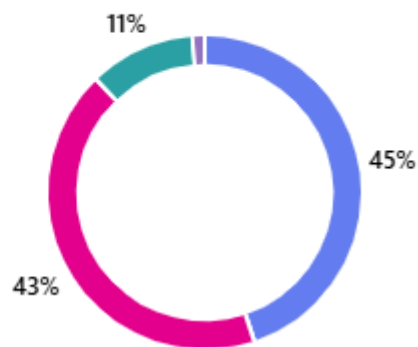


★各学年の発達段階に応じた校外学習や芸術鑑賞を通して、子供たちの豊かな心を育む教育活動を進めています。前期に引き続き、影絵劇の鑑賞や体験活動、学年ごとの校外学習を実施し、実際に見て触れる体験を通して学びを深めました。また、総合的な学習の時間では、地域の魅力や持続可能な町づくりについて考える探究活動にも取り組み、学びを広げています。これらの体験の様子や子供たちの振り返りは HP 等で紹介しております。今後も、保護者の皆様のご協力をいただきながら、子供たちが主体的に学べる体験活動を充実させてまいります。

6. 学校では、ICT機器を効果的に使いながら、分かりやすく楽しい授業を行っている。

[詳細情報](#)

● そう思う	70
● 少しそう思う	67
● あまりそう思わない	17
● そう思わない	2



★児童が主体的に学べるよう、授業の目的に応じて ICT 機器を効果的に活用する取組を進めています。タブレットを使った調べ学習や意見の共有、発表活動などを取り入れ、どの児童にとっても分かりやすく学びやすい授業づくりを目指しています。また、教職員間でも研修を重ね、ICT の活用方法を共有しながら授業改善に努めています。新しいタブレットの導入に伴い、適切な使い方やルールの確認も行い、安全に活用できるよう指導しています。今後も、ICT を文房具の一つとして位置づけ、学習の質を高めるための活用を進めてまいります。

【自由記述より】

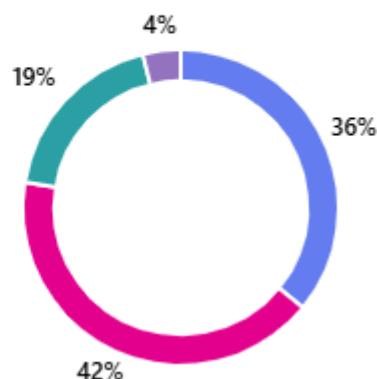
- ・ICT 教育はもっと力を入れて欲しい。
- ・自分の頃と比べてしまうとやはり断然劣っていると思ってしまう。機械に頼りすぎている。

★保護者の皆様からの貴重なご意見をありがとうございます。ICT 教育につきましては、児童の学習効果を高めるため、活用の質と場面の工夫をさらに進めてまいります。また、機器に頼りすぎることなく、基礎的な学習や対面での関わりを大切にしながら、ICT とのバランスを図った指導を心がけていきます。加えて、児童が社会に出る頃には社会の変化が一層加速し、求められる情報モラルやデジタルスキルも高度化していくことが予想されます。そのため、ICT 教育・情報モラル教育は将来の基盤をつくる非常に重要な学びであると考え、学校としても計画的に取り組みを強化してまいります。

7. 学校では、複数の先生で授業を行ったり、習熟度別の授業を行ったりして、一人ひとりに合った指導をしている。

[詳細情報](#)

● そう思う	56
● 少しそう思う	65
● あまりそう思わない	29
● そう思わない	6

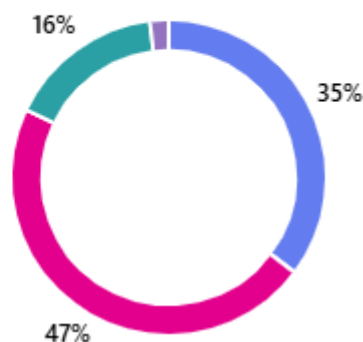


★担任だけでなく学力向上支援員や教科担任が連携し、複数の教員による支援体制を整えながら、一人一人の学習状況に応じた指導を進めています。高学年算数では習熟度別授業や自由進度学習を取り入れ、自分のペースで学習を深められるよう工夫しています。また、ICT を活用した分かりやすい授業づくりにも取り組み、児童が主体的に学べる環境を整えています。今後も、個別最適な学びを実現するために、複数の教員が関わる指導を充実させ、児童一人ひとりの理解と成長を支えてまいります。

8. 学校では、家庭学習の習慣をつけ、自分で学び続ける力を育てている。

[詳細情報](#)

● そう思う	55
● 少しそう思う	73
● あまりそう思わない	25
● そう思わない	3

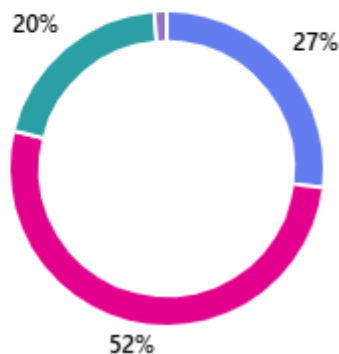


★家庭学習を通して主体的に学び力を育てることを大切にしています。年間を通して実施している「家庭学習はりきり週間」では、自ら計画を立てて学習に取り組む姿が多く見られ、学習習慣の定着につながっています。日々の家庭学習でも、基礎・基本の力が身に付くよう課題を工夫し、学年の実態に応じて分量や内容を調整しています。今後も、学校と家庭が連携しながら、無理なく継続できる学習習慣づくりを進め、一人ひとりが自分で学び続ける力を育ててまいります。

9. 学校では、外国語活動を通じて、コミュニケーション能力や他国の文化を尊重する心を育てている。

[詳細情報](#)

● そう思う	42
● 少しそう思う	81
● あまりそう思わない	31
● そう思わない	2

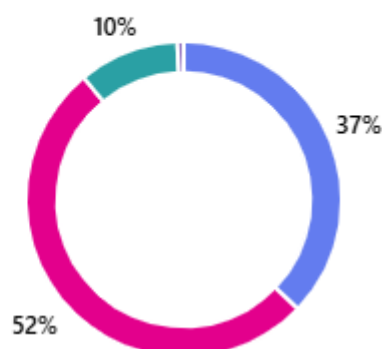


★英語専科教員と ALT による2名体制の授業を継続し、外国語でのコミュニケーションに親しむ機会を大切にしています。授業では、世界の国々の文化や暮らしに触れる活動を取り入れ、他国への理解や尊重の気持ちを育んでいます。また、海外在住の元職員とのオンライン交流や、給食・休み時間での ALT との関わりを通して、異文化に触れる体験を広げています。今後も、児童が楽しみながら外国語に親しみ、コミュニケーション能力や多文化を尊重する心を育てられるよう、教育活動を充実させてまいります。

10. 学校では、朝の読書や読み聞かせを行い、子どもたちが本に親しむ機会を作り、読書習慣が身につくようにしている。

[詳細情報](#)

● そう思う	58
● 少しそう思う	81
● あまりそう思わない	16
● そう思わない	1

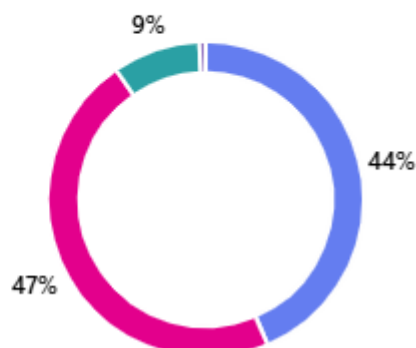


★毎朝の読書活動を継続するとともに、図書ボランティアや教職員による読み聞かせを通して、子供たちが本に親しむ機会を大切にしています。読書旬間の取組や図書委員会による催し、家読の推進など、年間を通して読書に触れる場を多く設けたことで、図書館の利用や貸し出し冊数も増えてきました。また、学級文庫の充実や移動図書館の活用により、家庭と連携した読書習慣づくりも進んでいます。今後も、読書を楽しむ環境を整え、子供たちの豊かな心を育む読書活動を推進してまいります。

11. 学校では、活動量のある授業体育や体育的行事を通じて、運動能力の向上と運動に親しむ態度の育成を図っている。

[詳細情報](#)

● そう思う	68
● 少しそう思う	73
● あまりそう思わない	14
● そう思わない	1

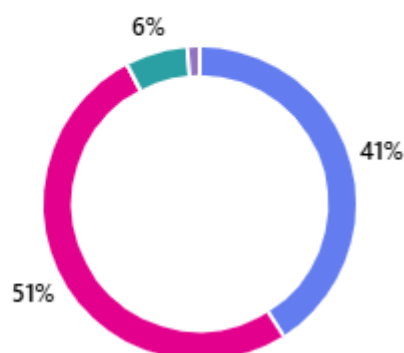


★保護者の皆様には、運動会や持久走練習など様々な場面でご協力いただきありがとうございました。今年度は栃木シティサッカー教室やBEXバスケット教室など専門的な外部機関との連携を新たな取組として行ってまいりました。子供たちから「楽しかった」「またやりたい」などの感想がたくさんあり、運動に親しむ態度が少しずつ育成されているように感じます。3学期も子供たちの運動能力向上と運動に親しむ態度の育成を図るべく、活動量のある授業体育や体育的行事に取り組んでまいります。

12. 学校では、心身の健康を保つための教育相談体制を整えるとともに保健・給食指導を通して必要な生活習慣を身につけている。

[詳細情報](#)

● そう思う	64
● 少しそう思う	80
● あまりそう思わない	10
● そう思わない	2



★児童が心身ともに安心して学校生活を送れるよう、教育相談体制の充実に努めています。定期的な「心の天気アンケート」や相談ポスの活用により、悩みや不安を早期に把握し、必要に応じて担任・養護教諭・特別支援担当が連携して対応しています。また、保健指導や食育の授業、給食指導を通して、食事・睡眠・運動といった基本的な生活習慣の定着を図り、健康的な生活が送れるよう支援しています。今後も、学校と家庭が協力しながら、児童一人ひとりの心と体の健康を守る取組を継続してまいります。

13. 学校では、施設の点検や避難訓練を行い、安全教育に力を入れている。

[詳細情報](#)

● そう思う	69
● 少しそう思う	84
● あまりそう思わない	3
● そう思わない	0



★児童が安心して学校生活を送れるよう、安全教育の充実と環境整備に継続して取り組んでいます。施設設備については、日常的な点検に加え、毎月の定例点検や必要に応じた臨時点検を全職員で行い、老朽化箇所や危険箇所の早期発見に努めています。修繕が必要な場合には町教育委員会と連携し、児童が安全に過ごせる環境づくりを進めています。

また、災害や不審者対応など、さまざまな状況を想定した避難訓練を毎学期実施し、自分の命を守るためにどのような行動が必要かを児童と教職員が共に考えながら取り組んでいます。火災・地震・竜巻・大雨などの自然災害に加え、不審者対応の訓練も行い、どの場面でも落ち着いて行動できる力を育てています。

さらに、交通安全教室や登校時の立哨指導、一斉下校など、地域と協力した安全指導も継続して行っています。地域の皆様とともに児童の登下校を見守ることで、安全意識の向上にもつながっています。今後も、学校全体で安全教育を大切にし、児童が安心して学べる環境づくりを進めてまいります。

【自由記述より】

いつも大変お世話になっています。1年生が使用しているトイレが度々、水浸し等になり、体育館まで行かないと使用できないということがありました。古いのでそういった状況も理解はできるのですが、距離がある＋並んでいるため、時間が足りない、講演会をしていて下校前に使用できないこともあったと聞いています。何か対策していただけるとありがたいです。よろしくお願いします。

★トイレの利用状況についてご心配をおかけしました。また、貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございます。1Fトイレの水漏れ等につきましては、今年度、業者による修繕を複数回行い、改善に努めてまいりました。

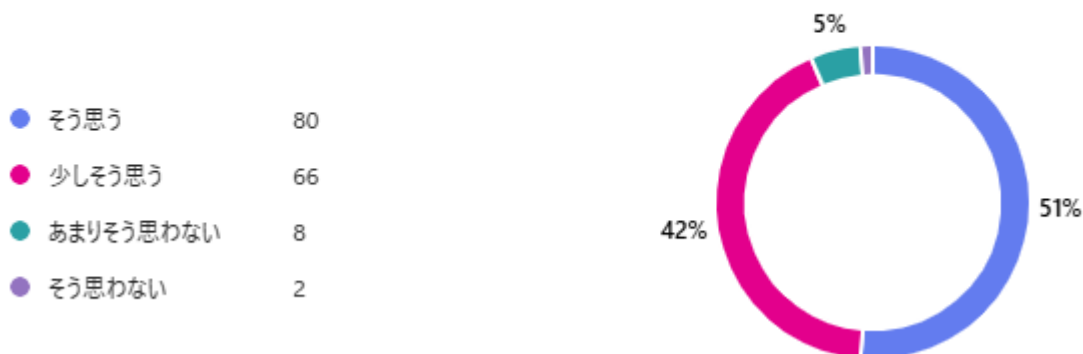
併せて、老朽化だけでなく児童の使い方にも課題が見られたため、養護教諭が1・2年生のクラスごとに、実際にトイレにて「水の流し方」や「一度に流すトイレトーパーの量」について指導を行いました。その際、トイレトーパーが交換できずにポケットティッシュやそのビニル包装をそのまま流してしまう、水に溶けにくい包装紙や必要以上の紙を大量に流してしまうといった実態も確認され、配管の詰まりの原因となっていました。これらはトイレの故障や水漏れにつながるため、学校でも繰り返し指導を行っております。引き続き、児童が安心して利用できる環境づくりに取り組むとともに、みんなで気持ちよく使えるよう、「流してよい物・いけない物」についてご家庭でもお話しただけですと大変ありがたく存じます。今後も改善に向けて努めてまいります。

14. 学校では、責任感をもち、最後までやり遂げる力を育てている。

[詳細情報](#)



★発達段階に応じて役割をもって活動する機会を設け、責任感を育てる取組を継続しています。低学年では給食当番や日直など、無理なく取り組める仕事を通して「やり遂げる経験」を積み重ねています。中学年では、学級の係活動を通して自分たちの生活をより良くする工夫を考える姿が見られます。高学年になると、委員会活動や縦割り班活動、行事の運営など、学校全体に関わる重要な役割を担い、責任ある行動が求められます。こうした活動を通して、子供たちは自分の役割に向き合い、最後までやり遂げようとする態度を育んでいます。今後も、日々の頑張りを認めながら、責任感をもちて行動できる児童の育成に努めてまいります。



★学校の教育活動をより分かりやすくお伝えするために、手紙やホームページを活用した情報発信の充実に努めています。ホームページでは、行事の様子だけでなく、日々の授業風景や子供たちの学びの姿を写真とともに掲載し、学校での取り組みがご家庭でも話題にしやすいよう工夫しています。普段の授業参観では見られない子供たちの表情や活動の様子を知ることができ、保護者の皆様からも好評をいただいています。

また、学年だよりについては、安心安全メールを通して更新情報をお知らせし、ワンクリックで必要なページにアクセスできるよう改善を進めています。これにより、忙しい保護者の皆様にもスムーズに情報を受け取っていただけるようになりました。今後も、学年ごとの学習内容や行事予定、子供たちの成長の様子をタイムリーにお届けできるよう、発信方法の工夫を続けてまいります。

さらに、学校の特色ある教育活動や委員会・クラブ活動の取り組み、地域と連携した行事などについても積極的に紹介し、学校と家庭が同じ方向を向いて子どもたちの成長を支えられるよう努めています。これからも、保護者の皆様にとって分かりやすく、安心して学校生活を見守っていただける情報発信を心がけ、より連携しやすい環境づくりを進めてまいります。

【自由記述より】

- ・学校の様子がわかるホームページを毎日楽しみにしております。3学期もよろしくお願いします。
- ・いつも丁寧なご指導ありがとうございます。学校のホームページが定期的に更新されるので、学校の様子がよくわかり、帰宅後の子供達との話題が盛り上がります(^^) 子供達は先生方をとても尊敬しており、慕っています♡今後ともどうぞよろしくお願い致します。

★ありがとうございます。ホームページをご覧になった際には、ぜひ「👍」をお願いします。ホームページ更新の励みになります！今後も積極的に学校の様子を発信してまいります。

《家庭教育力》

保護者の皆さまには、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。このたび実施いたしました「家庭教育に関するアンケート」では、多くのご家庭でお子さんの成長を温かく支えていただいている様子がうかがえました。

16. 家庭では、お子さんの話をよく聞き、努力を認めて褒めている。

[詳細情報](#)

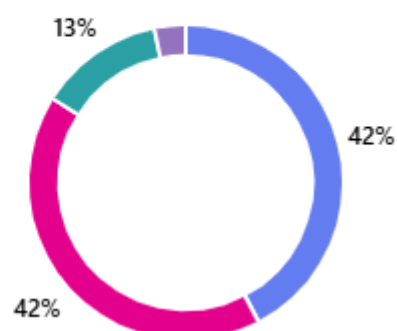
● そう思う	71
● 少しそう思う	81
● あまりそう思わない	4
● そう思わない	0



17. 家庭では、お子さんが基礎学力を身につけるために、宿題などの家庭学習を見ている。

[詳細情報](#)

● そう思う	66
● 少しそう思う	65
● あまりそう思わない	20
● そう思わない	5



18. 家庭では、お子さんが最後まであきらめずに頑張るように励ましている。

[詳細情報](#)

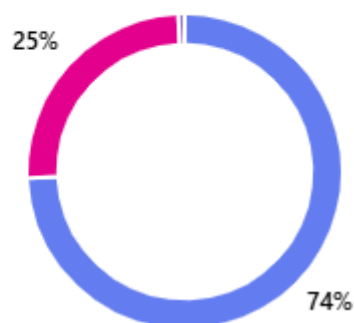
● そう思う	84
● 少しそう思う	68
● あまりそう思わない	3
● そう思わない	1



19. 家庭では、お子さんに善悪の判断力をつけるため、悪いことを叱り、理由を教えている。

[詳細情報](#)

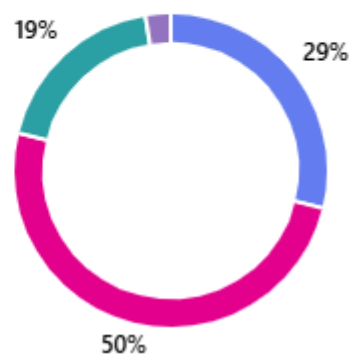
● そう思う	116
● 少しそう思う	39
● あまりそう思わない	0
● そう思わない	1



20. 家庭では、お子さんの端末機器やネット、ゲームの使用について、約束や時間を守らせている。

[詳細情報](#)

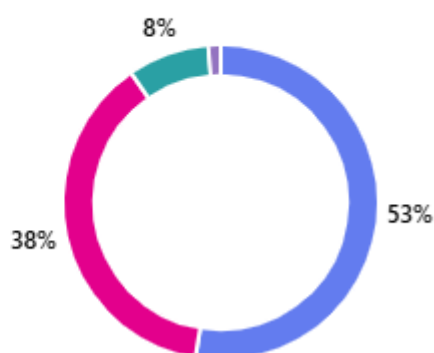
● そう思う	45
● 少しそう思う	78
● あまりそう思わない	29
● そう思わない	4



21. 家庭では、お子さんが早寝早起きと朝ご飯を実践し、規則正しい生活を送ることができるようにしている。

[詳細情報](#)

● そう思う	82
● 少しそう思う	59
● あまりそう思わない	13
● そう思わない	2



■アンケートから見たご家庭の“力”

- お子さんの話をよく聞き、努力を認めて励ましているという回答が大多数を占め、日々の関わりの中でお子さんの自己肯定感を育んでいただいていることが分かりました。
- 宿題や家庭学習の見守りについても、多くのご家庭が取り組んでくださっており、基礎学力の定着に大きく寄与しています。
- 最後まであきらめずに取り組む姿勢を励ましているという回答も高く、粘り強さを育てる声かけが実践されていることが伝わってきました。
- 善悪の判断を教えるしつけについては、ほぼすべてのご家庭で丁寧に取り組んでいただいております、学校とし

でも大変心強く感じています。

■今後さらに力を伸ばしたいポイント

一方で、いくつかの項目では課題も見えてきました。

- **端末機器・ネット・ゲームの使用ルールづくりでは、「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答が他項目に比べて多く見られました。**デジタル機器は便利である一方、使い方によってはデジタル依存を引き起こし、生活リズムや学習習慣に影響することがあります。
- **早寝早起き・朝食などの生活習慣についても、一定数のご家庭で難しさがあることが分かりました。**生活リズムは学習意欲や集中力に直結するため、学校としても引き続き支援していきたいと考えています。

■学校と家庭で、子どもの成長をともに支えるために

家庭教育は、お子様の成長の基盤となる大きな支えでありとても大切な役割です。

「話を聞く」「認める」「励ます」「ルールを伝える」など、日々の小さな積み重ねが、お子さんの生きる力を育てます。

今回のアンケート結果から、すでに多くのご家庭で素晴らしい取り組みが行われていることが分かりました。学校としても、保護者の皆さまと協力しながら、子どもたちがよりよい生活習慣と学習習慣を身につけられるよう、引き続き支援してまいります。

【その他】自由記述より

・対人関係について、担任の先生がクラス全体、個別にも向き合い時間をかけて話をしてくださったおかげで、学校生活を安心して、前向きな気持ちで過ごすことができています。感謝しています。

⇒担任の関わりが、お子様の学校生活を安心して前向きに過ごすことにつながっているとのことのお言葉は、教職員にとって大きな励みとなります。今後も、一人ひとりの児童に丁寧に向き合い、安心して学べる環境づくりに努めてまいります。

・思春期の時期だからだとは思いますが、先生達の言動で子供達から「あの子はひいきされている。」「あの子は先生のお気に入りなんだよ。」と聞くことが多いなと感じています。子供達の話というところもありますが、少し気になっていたのでコメントさせていただきました。よろしくお願いします。

・男性の先生がお気に入りの子は下の名前を〇〇ちゃん等と呼び、他の子は〇〇さんと呼んで、生徒を差別をしていると子どもたちから聞きました。香水のにおいがきついとの声も聞きます。

⇒ 教職員の関わり方についてご心配の声をお寄せいただき、ありがとうございます。

学校には多様な児童が在籍しており、必要に応じて個別の支援や関わり方を変える場合がありますが、そのことで誤解を生むことのないよう、教職員一同、言動には一層注意してまいります。ご指摘のあった呼名については、「～さん」で統一することを職員会議で再度確認し、全職員で気をつけてまいります。香りに関するご意見については、香水を使用している職員はいませんが、夏場などに汗拭きシートを使用する際は、香料のないものを選ぶよう改めて共有しました。また、児童の言葉だけをそのまま事実と受け取るのではなく、確認を行いながら、事実に基づいて適切に対応していくことが重要であると考えております。近年は SNS 等をはじめ、事実かどうか確認できない情報や噂を拡散するなどして児童生徒・教職員の誹謗中傷や人権侵害の問題につながるケースも増えており、大人も含めた情報モラルの向上が求められています。今後も、気になることがありましたら、その都度学校へご連絡いただければ幸いです。すべての児童が安心して過ごせる学校づくりに努めてまいります。

・今年の運動会では、久々のかんぴょう音頭があり、睦小出身の私としては嬉しかったです。出来れば、これからは毎年やっていただきたいです。それと、睦小出身の保護者や地元の方々にかんぴょう音頭についてアドバイスなど聞く機会などがあると良いかもしれません。今回学校で購入した花笠が何の飾りも無い物だったので、昔を思い出しながら再現してみましたが、かんぴょう音頭の振りには鈴を鳴らす振りなどあるので、全校生徒でやったらもっとも賑やかになって子供たちも盛り上がるかなと思いました。地元民としては、かんぴょう音頭をやるならしっかりと子供たちに昔からの伝統を知ってもらい、壬生町に生まれた誇りを持ち後世に受け継いでもらいたいと思いました。

⇒地元の伝統を懐かしんでいただけたこと、そして児童にも受け継いでほしいという思いを伺い、大変嬉しく感じております。かんぴょう音頭や花笠の飾り、振り付けなどについて、地域の皆様からアドバイスをいただく機会を設けることは、児童が郷土の文化に触れ、壬生町に誇りをもつ良い機会になると受け止めております。今後の行事づくりの参考として検討してまいります。

- ・翌日の時間割が変わっている事があるようなので、連絡帳に翌日の時間割を記載するようにしてほしい。
- ・持ち物が多くてランドセルが重くてかわいそうです。宿題以外の教科を持ち帰る事に選択できる自由が欲しいです。金曜日に教室で上履きを脱がせるのやめてください。不衛生だと思います。

⇒翌日の時間割の変更がある際には、児童が安心して準備できるよう、できる限り連絡帳への記載を徹底するように担任へ周知いたします。持ち物の多さやランドセルの重さについては、児童の負担を軽減することが大切であると受け止めております。宿題以外の教材の持ち帰りについても、必要性を踏まえつつ、児童が選択できる場面を増やすなど、負担軽減の工夫を検討してまいります。また、低学年の金曜日の上履きの扱いについては、方法やタイミングを見直し、より安全かつ衛生的に取り組めるよう早期に改善を図っていきます。

- ・一斉下校でもバラバラで帰るようなので、見守りや班の確認など、もう少し力を入れてほしい。低学年の子どもですが、下校時の自分の班がどこかなど困っている事もあった。

⇒低学年のお子様が班を見失ってしまうことがあったとのことで、ご心配をおかけし申し訳なく思っております。今後も機会を捉えて全児童に対して、登下校について指導を行います。また、必要に応じて、班ごとに指導するなど安全確保に努めてまいります。一方で、登下校時の見守りは教員の通常業務の範囲外とされており、国の示す教員業務の3分類においても、地域や保護者の皆様の「自助・共助」による取り組みが重要とされています。そのため、引き続き地域の見守り活動や保護者の皆様、交通ボランティアの皆様のご協力をいただきながら、子供たちの安全を守る体制を共に築いていければと考えております。学校としても、児童が自分の班を把握しやすいような声かけや指導を継続し、安全に下校できるよう努めていきます。

**アンケートのご協力、誠にありがとうございました。お寄せいただいたご意見を
をもとに、よりよい学校運営を目指してまいります。**

今後とも本校教育活動に対し、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。